

長湫・岩作地区 報告書

令和6年2月22日（土）午前10時～ 市役所西庁舎研修室

参加者：12名

No.	内容	種類	回答
1	売却希望はいくらで考えているのか？	質問	アンケートの設問では、売却の金額を具体的に聞いていないため、所有者の真意は分かりかねます。
2	農地のままの値段で売却を考えているのか？	質問	アンケートの設問では、売却の金額を具体的に聞いていないため、所有者の真意は分かりかねます。
3	用水路更新の計画は？50年経過しているものもあり、問題	質問	大幅な用水路の更新の計画はありません。損傷があり次第修繕を行っています。
4	人材確保で稼げる農業に	アイデア	稼げる農業ができるような良い取組を地域で検討していきます。
5	地域で農業を守る、学童等で農業体験	アイデア	参考にします。
6	数、データだけで理解できない	意見	地域計画内の数字については、目標地図に位置付けられている者の耕作予定地から算出しています。
7	現状から将来のあり方に至るまでの方法が書かれているが、網羅的に進めていくのか、優先順位を決めるのか？	質問	今後も協議の場は実施していきますので、その中で地域の中で最も必要なもの、また実現可能なものを精査しながら行います。
8	農協が主体になって大枠を決める	アイデア	地域計画をきっかけに協議の場を今後も継続していくことで、これまで以上に地域、行政、農協が連携を図っていきます。
9	耕作の現在と将来見込の比較ができない	意見	アンケートの設問では、10年後の意向は聞いていますが、現状の農地利用の意向は聞いておりません。10年後も売却、貸出、委託を希望している者は、現状も少なからず同じような考えを持っていると判断しています。
10	今回の地域計画作成にあたり何人くらいの農業者と話したか？アンケート回収のみか？	質問	農地所有者約1,000名、農地を所有していない農業者60名へのアンケートの実施、4地区での協議の場へ延べ約90人の参加、目標地図素案の閲覧等による聞き取りを農業者約20名に対して行ってきました。
11	（長湫地区）農業集団（グループ化）を形成するうえで栽培方法、販売作物でトラブルが発生する可能性がある	アイデア	グループ化する際は、よく話し合っていく必要があると考えます。
12	やりたいこと、その度合いに応じたエリア分けが必要	アイデア	農業に対する考えは人それぞれであり、化学肥料使用の有無等協議することが今後も必要であると考えます。
13	北部農産以外の担い手問題	アイデア	今後も協議の場を継続して実施し、地域の方々と地域にあった取組を考えていきます。
14	（岩作地区）水稻を確実に持続し、米自体のブランド化が進むようにする	アイデア	今後も協議の場を継続して実施し、地域の方々と地域にあった取組を考えていきます。
15	農業をやってくれる農人バンク	アイデア	とても良いアイデアです。
16	集約化についての所有者の不安事	アイデア	耕作者の聞き取りは今回できたが、所有者の考えを多く聞くことができていないため、所有者の意向は今後の検討項目であると考えます。
17	集約は善？	質問	集約の良し悪しは、所有者や耕作者の意向により異なってくると考えます。
18	浮江地区は岩作？長湫？	質問	浮江地区は岩作地区になります。地域計画の地区割は旧大字で行っています。
19	愛知用水に賦課金を負担してほしい	意見	愛知用水の賦課金は、受益地の所有者（若しくは耕作者）が負担することとなっています。

順不同